

公衆衛生看護援助論Ⅱ

保健師コース必修

開講年次：3年次後期

科目区分：演習単

位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：地域に暮らす人々の健康の維持増進及び健康な地域づくりのために行う保健師の役割や機能について学ぶ。とくに地域の人々の生活や健康状態を統計資料やその他の関連資料から把握し、地域の健康課題を抽出する方法を学ぶ。さらに健康課題の解決・達成のために行われる各種の保健事業について理解を深める。

■**到達目標**：①地域診断の目的、意義、方法について説明できる。
②対象地域の基本構造と健康状態を把握し母子の健康課題を明らかにする。
③健康課題の解決・達成のために行われている保健事業について理解を深める。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎清水 光子・櫻井 繭子・近藤 圭子・田中 里江

■**授業計画・内容**：

第1回 地域診断の基礎Ⅰ 「地域診断の目的・意義」
第2回 地域診断の基礎Ⅱ 「地域の概要・地域の基本構造」
第3回～第6回 演習：地域の概要・地域の基本構造
第7回 地域診断の基礎Ⅲ 「健康課題の抽出」
第8回～第10回 演習：健康課題の抽出：母子
第11回 地域診断の基礎Ⅳ 「健康課題の構造化と施策化」
第12回～第14回 演習：健康課題の構造化
第15回 実習地域の地域診断演習の計画

■**教科書**：保健師業務要覧（日本看護協会出版会）
国民衛生の動向（厚生労働統計協会）
地域看護アセスメントガイド／佐伯和子他（医歯薬出版株式会社）

■**参考文献**：標準保健師講座1.2.3.別巻1（医学書院）
最新保健学講座1～7（メヂカルフレンド社）

■**成績評価基準と方法**：レポート60%、授業態度・発表10%、課題の提出30%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	①	②	③		
最終レポート	◎	◎	◎	理解の程度	60
授業態度・発表	○	○	○	資料の完成度 グループワーク・プレゼンの積極性	10
課題の提出	◎	◎	◎	課題等を提出していること	30
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：公衆衛生看護学概論、保健統計、疫学、公衆衛生看護援助論Ⅰ、ヘルスプロモーション活動論、公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ

■**課題の提出等**：1) 地域診断に関する課題を課します。
2) 次年度の「ヘルスプロモーション活動論」「公衆衛生看護学臨地実習」に向けて、実習地域の地域診断の課題を課します。

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：行政保健師の基本的な地域診断を学びます。行政に働く保健師が果たす役割や機能について考察を深めてください。